

平成29年度第2回鳥取県立博物館協議会 次第

日時：平成29年8月28日（月）

午後1時30分～

場所：鳥取県立博物館 会議室

1 開 会

2 挨拶 鳥取県立博物館協議会 議長 谷口 博繁

3 報告事項

- (1) 平成28年度博物館事業に係る決算について
- (2) 平成29年度企画展及びその他の博物館事業の実施状況について
- (3) 鳥取県立美術館整備の検討状況について

4 協議事項

鳥取県立博物館改修基本構想について

5 その他

6 閉 会

【配付資料】

- 資料1：平成28年度鳥取県立博物館予算・決算一覧表
- 資料2：バーナード・リーチ展及びつばさの博覧会の結果概要
- 資料3：池田光政展及びフジフィルムフォトコレクション展の準備概要
- 資料4：常設展の展示概要（展示替え及び利用者状況等）
- 資料5：移動美術館・博物館など各種講座やワークショップ等の実施状況と今後の予定内容
- 資料6：調査研究の進捗概要
- 資料7：T.M.N.の活動概要（アドバイザー派遣事業、美術館連携計画の検討）
- 資料8：平成29年度第1回鳥取県立博物館協議会での意見等に係る対応方針
- 資料9：県立美術館整備の検討状況について
- 資料10：改修後の鳥取県立博物館事業計画（想定）

鳥取県立博物館協議会委員名簿

氏名	団体名及び職名	区分	部会	専門分野	出欠	備考
にしうら きみこ 西浦 公子	東部地区家庭教育相談員 連絡協議会代表	家庭教育	運営	—	欠席	
よねだ けいこ 米田 恵子	鳥取市立富桑小学校校長	学校教育	運営	—	出席	
たにぐち ひろしげ 谷口 博繁	元鳥取県立博物館長	社会教育	運営	—	出席	議長
たむら しずみ 田村 閑美	鳥取女性中央会会長、倉 吉異業種交流プラザ会長	社会教育	運営	—	出席	
こだま よしのり 小玉 芳敬	鳥取大学地域学部教授	学識経験者	自然	地学	出席	
つるさき のぶお 鶴崎 展巨	鳥取大学地域学部教授	学識経験者	自然	動物	出席	
いしま まち 井島 真知	ベルナール・ビュフェ美 術館 学芸員	学識経験者	自然	自然科学 教育	出席	
まえた あきのり 前田 明範	元倉吉博物館長	学識経験者	美術	美術史	出席	
いしたに こうじ 石谷 孝二	鳥取大学地域学部附属芸 術文化センター教授	学識経験者	美術	彫刻	欠席	
きのした ちえこ 木ノ下 智恵子	大阪大学21世紀懐徳堂准 教授、アートプロデューサー	学識経験者	美術	現代美術	欠席	
さかもと けいじ 坂本 敬司	前鳥取県史編さん室長	学識経験者	人文	歴史	出席	
のじ つねあり 野地 恒有	愛知教育大学教授	学識経験者	人文	民俗	欠席	
い そよん 李 素妍	鳥取大学地域学部准教授	学識経験者	人文	考古	出席	
なかお ひろたろう 中尾 廣太郎	鳥取東部美術家協会会長	学識経験者	美術	洋画	出席	

委員14名

出席 10名

【事務局】

所属	役職等	氏名
博物館	理事監兼博物館長	田中 規靖
	副館長兼総務課長	安養寺 博
	副館長兼美術振興課長	尾崎 信一郎
	美術館整備準備室長	漆原 芳彦
	学芸課長	西村 俊明
	総務課	岩尾課長補佐、奥田課長補佐
	美術館整備準備室	石原係長
	学芸課	川上主幹学芸員、福代主幹学芸員、清末主幹学 芸員、一澤主任学芸員、来見田主任学芸員
	美術振興課	三浦主幹学芸員

平成28年度鳥取県立博物館 予算・決算一覧表

(一般会計 現年)

(単位:千円)

事業名	予算額				決算額	決算額の財源内訳					備考		
	当初予算	補正額	流用額	計		国庫	使用料	財産収入	諸収入	起債		繰越金	一般財源
(博物館費)													
企画展開催費	90,290		△ 200	90,090	87,789		1,776	5,509				80,504	
昭和の洋面を切り拓いた若き情熱	21,070			21,070	20,678		823	21				19,834	
宇宙への挑戦	22,968			22,968	22,968			5,488				17,480	
日本におけるキュビズム	23,218			23,218	22,850		814					22,036	
大◎荒神展	9,751		△ 150	9,601	9,057		5					9,052	
ミュージアムとの創造的対話01	12,591		△ 50	12,541	11,558		124					11,434	
バーナー・ロード・リリーチ展	692			692	678		10					668	H29企画展
博物館運営費	346,647	△ 40,287	1,000	307,360	305,275		3,227	372	1,360	216,000		84,316	
博物館交流事業	1,531		△ 100	1,431	1,215							1,215	
収蔵資料管理事業	5,781			5,781	5,172			9				5,163	
自然事業費	15,359	△ 1,373	△ 500	13,486	12,725			15				12,710	
人文事業費	27,949	△ 3,113		24,836	21,432			40				21,392	
美術事業費	20,932	△ 1,559	△ 200	19,173	17,194							17,194	
博物館普及事業費	11,338	△ 2,247		9,091	7,387			8				7,379	
鳥取播絵師粉本類修復事業	1,941			1,941	1,937							1,937	
美術館整備基本構想策定事業	9,558			9,558	9,310							9,310	
鳥取県美術品取得基金買戻金		28,890		28,890	28,890							28,890	
小計	531,326	△ 19,689	0	511,637	498,326	0	5,003	372	6,941	216,000	0	270,010	

企画展「日本民藝館所蔵 生誕130年 バーナード・リーチ展」の開催結果について

展覧会名	企画展「日本民藝館所蔵 生誕130年 バーナード・リーチ展」
会 期	平成29年4月15日(土)～6月4日(日)〔会期中無休 51日間〕
会 場	鳥取県立博物館 2階 第1特別展示室

1 事業概要

鳥取県とゆかりの深い陶芸家バーナード・リーチの生誕130年の記念すべき年に、日本最大のリーチ・コレクションを誇る日本民藝館所蔵品の中から、リーチの最初期から晩年までの陶磁器を中心に約200点の作品や資料を一堂に紹介し、日本人に愛された英国人バーナード・リーチの芸術活動を振り返った。

2 開催結果

(1) 企画展入場者数 6,037人 (目標 9,900人)

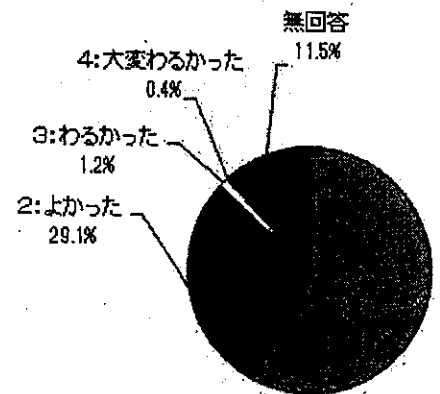
(2) 関連行事参加者数

① スペシャルギャラリートーク (4/15)	118人
② 特別講演会 (4/22)	115人
③ ギャラリートーク (4/28、29、5/12、20、26、6/3)	130人
④ リーチほか座談会記録DVD上映会 (5/6、27)	142人

(3) 結果・反響 (来館者アンケートから：回答数244人)

① 展覧会満足度

「大変よかった」「よかった」とする意見が合わせて86%と好評であった(右図)。



② 感想 (主なもの)

- ・とても見ごたえがありました。様々な陶器があり、模様や大きさもそれぞれ個性があり、絵を描く時の参考になりました。
- ・裸展示であったので、真近で見れ、焼物の質や色がわかり、良かったです。たけし展より良かったと思いました。
- ・展示されている位置が低いので、目線までもう少し上げていただきたいと思います。

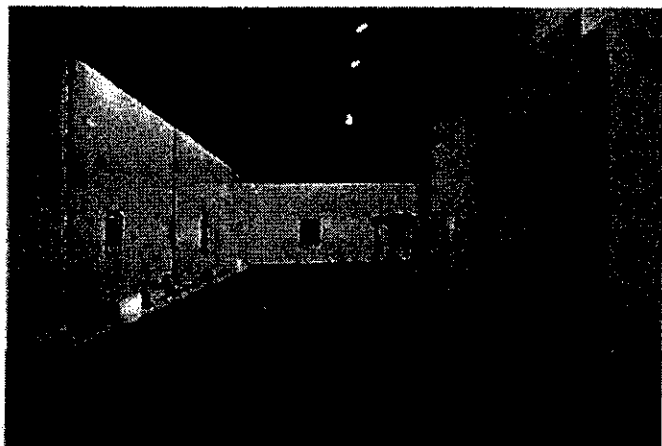
まとめ

- ・展示の内容や関連事業、さらに、館内のカフェで開催したリーチのレシピを再現したカレーフェアなどは好評であった。鳥取とゆかりのある作家ということで、親しく楽しんでいただけたようであった。
- ・共催のNHK鳥取放送局による各種関連番組の取り組みも話題を呼んだ。しかし、目標入館者数を達成することはできなかった。来場者の約8割が40歳以上で大学生等の若い世代は少なかった。落ち着いた印象のポスターデザインであったため、若い世代には訴求しなかった可能性がある。また、小中学生の団体入館がほぼゼロであったことも響いている。県外(とくにリーチとゆかりのある島根県)からの入込みを期待していたが、それほど数字は伸びなかった。あまり来館しない層に訴求するためにどこでどのように告知するのか、もっと検討する必要がある。

<写真>



開会式の様子



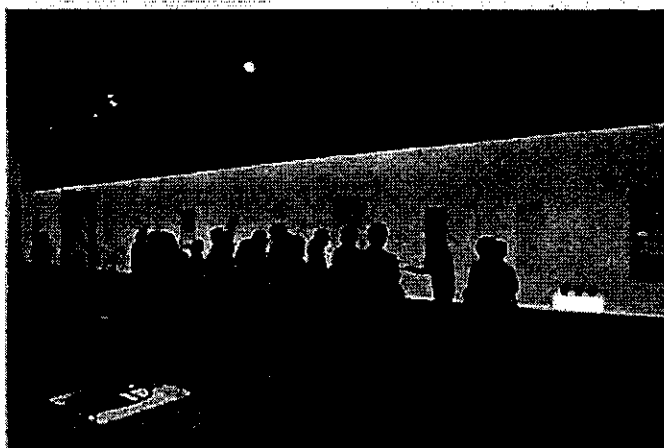
展示会場の様子



スペシャルトークの様子



学芸員トークの様子1



学芸員トークの様子2



館内カフェでのリーチ・カレーフェアで提供したカレーランチ

企画展「つばさの博覧会 —巨大翼竜からペンギンまで—」の開催結果について

展覧会名	企画展「つばさの博覧会 —巨大翼竜からペンギンまで—」
会 期	平成29年7月15日(土)～8月27日(日) [会期中無休 44日間]
会 場	鳥取県立博物館 2階 第1・第2特別展示室

1 事業概要

空を飛ぶ能力を獲得した昆虫、翼竜、鳥、コウモリの4グループについて、「つばさ」の特徴や骨格の構造等を解説。各動物が進化の中で獲得した「空を飛ぶための工夫」や、鳥類については羽毛の進化と多様な機能についても紹介した。あわせて、鳥取県における鳥類の調査研究・保護活動を紹介した。

2 開催結果

(1) 企画展入場者数(※8月19日時点) 10,181人 (目標 8,000人)

(2) 関連行事参加者数

① ギャラリートーク(7/16、8/13)	計88人
② 自然講座「さわってみよう! 鳥のホネ」(8/5)	16人
③ サイエンスレクチャー「遺跡の鳥のサイエンス」(8/6)	約70人
④ ワークショップ「浮かぶつばさをつくろう!」(8/20)	計46人

(3) 結果・反響 (※来館者アンケート集計中)

① 展覧会満足度

集計中のため具体的な数値は出せないが「大変よかった」「よかった」とする意見が多数を占めている。

② 感想(主なもの)

- ・翼竜が大きくてびっくりした。はくりょくがあった。 ・つばさのことがよくわかった。
- ・ていねいに説明書きがしてあり、大変良かった。 ・幅広い種類の鳥が展示されていて勉強になった。
- ・うちわがおもしろかった。 ・さわれるものがたくさんあってよかった。
- ・体験コーナーを子供が楽しんでいた。 ・写真撮影OKでよかった。

特記事項

- ・巨大翼竜ケツアルコアトルス生体復元模型は、ほとんどの観覧者が驚き、迫力を感じたようだ。また「実際に飛んだのか」との疑問の声も多く、動物の飛翔について改めて考えるきっかけになったと思われる。
- ・鳥のつばさと風切羽のしくみを示す「まほうのうちわ」や、風洞実験装置、タッチング標本などのハンズオン展示は非常に好評で、展示内容のより深い理解につなげることができた。
- ・体験コーナー「ふわふわ鳥をとばそう」「紙ヒコーキ★コンテスト」では、子供たちだけでなく多くの大人の方にも好評で、熱心に取り組む姿が多く見られた。自分で作って飛ばす、という作業に加え、飛び方に応じて自分なりに調整・工夫し、再度飛ばす、という過程が好まれたと思われる。
- ・展示資料について、博物館の広報等で資料の写真を公開するだけでなく、来場者が会場内で撮影し、また個人のSNS等で自由に発信できるよう、すべての借用先に事前の了解を得た。このことは広報面で大きなプラスになったと思われる。
- ・入場者数は、8月19日(36日目)の時点で目標を大きく上回った。

<写真>



ギャラリートーク (7/16)



ギャラリートーク (8/13)



展示室の様子



体験コーナー



トリピー来場



自然講座「さわってみよう！鳥のホネ」



サイエンスレクチャー



ワークショップ「浮かぶつばさをつくろう」

平成29年度企画展

「鳥取入府400年 池田光政展 ～殿、国替えにござります～」開催要項

1 会期 平成29年10月7日(土)～11月12日(日) (36日間)

休館日 10月23日(月)

2 会場 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

3 趣旨

2017(平成29)年は、江戸時代屈指の大名であった姫路城主の池田光政が、国替えによって因幡・伯耆に入府した1617(元和3)年から400年にあたる。この国替えによって、因幡・伯耆の2国を一人の大名が管轄するという鳥取藩32万石の枠組みが初めて形成された(ただし大山寺領は除く)。鳥取県がこの領域をほぼ引き継いでいるという意味で、光政の入府は、今につながる大きな出来事であった。その一方で、光政が鳥取藩主であったことやその業績は、15年余りの短い統治だったこともあり、これまで十分に認識されてこなかった。

本展は、岡山県立博物館との3ヵ年にわたる文化交流事業の締めくくりとして、岡山県内の文化施設からの協力を得て、100点余りの歴史資料を通じて、400年前の国替えという歴史を振り返り、現在の鳥取県の骨格を作ったともいえるべき藩主池田光政と、それを支えた池田家家臣たちの治績を紹介するものである。

4 主催 「池田光政展」実行委員会(鳥取県立博物館・山陰中央テレビジョン放送株式会社)

5 協力 岡山県立博物館

6 展示内容

- | | |
|----------------|-------------------------------|
| (1) はじめに | 光政入府前の因幡・伯耆の大名、姫路時代の池田家に関する資料 |
| (2) お国替え | 池田光政の鳥取移封と徳川秀忠の政治 |
| (3) 池田光政の業績 | 領内の検地、鳥取城・城下町の整備、大阪城石垣普請など |
| (4) 大名池田家のつながり | 江戸前期の池田家一門の結束を紹介 |
| (5) 池田光政ゆかりの品々 | 光政が愛用した道具類などを紹介 |
| (6) おわりに | 岡山から鳥取へのお国替えに関する資料、光政と現在など |

7 関連行事

- (1) 歴史講座「池田光政という人物」 講師 倉地克直氏(岡山大学特命教授)
日時 10月9日(月・祝) 14:00～15:30 会場 博物館講堂
- (2) 座談会「姫路・鳥取・岡山 ～大名池田家のつながりとひろがり～」
講師 伊藤康晴氏(新鳥取県史編さん委員)、内池英樹氏(岡山県立博物館主幹)、
司会 当館学芸員、日時 10月22日(日) 14:00～15:30 会場 博物館講堂
- (3) 池田光政の足跡をたずねて①～鳥取城下でぶらり～ 日時 10月15日(日) 13:30～16:00
講師 当館学芸員 会場 博物館会議室および市内
- (4) 池田光政の足跡をたずねて②～鳥取城跡でぶらり～ 日時 10月29日(日) 14:00～16:00
講師 細田隆博氏(鳥取市教育委員会文化財専門員) 会場 博物館講堂および鳥取城跡
- (5) 歴史講座「鳥取城で鷹狩り！～諏訪流放鷹術の実演～」
日時 11月5日(日) 10:00～12:00 場所 博物館敷地内

8 入館料

一般800円(前売り・団体・大学生・70歳以上500円) 小中学生・高校生は無料。ただし、小・中・高校生及び学校活動で来館するそれらの引率教諭、並びに障がいのある方、難病患者の方、要介護者等及びそれらの介護者は減免。

フジフィルム・フォトコレクション展
～日本の写真史を飾った写真家の「私の1枚」～

開催要項

1. 開催趣旨

「フジフィルム・フォトコレクション」は、富士フィルム株式会社の創立80周年を記念して収集された優れた写真作品群です。日本に写真術が伝来した幕末から、銀塩写真が最盛期を迎えた20世紀を経て現代に至る日本の写真史を彩る101名の写真家の代表的な作品である「この1枚」を、銀塩プリントにより後世に残す目的で2014年に創設されました。101名の写真家の中には、鳥取県出身の5名の写真家（塩谷定好、植田正治、杵島隆、田淵行男、岩宮武二）も含まれています。

本展では、多くの写真家によって築き上げられた、日本の写真史と写真界の発展の軌跡を紹介します。また、鳥取県出身の写真家たちの表現の特質を、日本の写真史全体から俯瞰する貴重な機会ともなると思われます。

2. 会 期 平成29年11月23日（木・祝）～12月24日（日）（32日間）

休館日：毎週月曜日

3. 会 場 鳥取県立博物館 第1特別展示室

4. 主 催 「富士フォト展」実行委員会（鳥取県立博物館・山陰中央テレビジョン放送株式会社）

5. 特別協力 富士フィルム株式会社

6. 監修協力 フォトクラシック

7. 制作協力 株式会社コンタクト

8. 観 覧 料 一般 800円（前売り・団体・大学生・70才以上 500円）

※小・中・高校生及び学校活動で来館するそれらの引率教諭、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びそれらの介護者は無料

9. 展示構成

- (1) 「写真の黒船がやって来た」 幕末から明治
- (2) 「アマチュア写真家たちの誕生」 大正～昭和前期
- (3) 「激動の時代をとらえる」 戦後～1960年代
- (4) 「新世代の台頭」 1970年代
- (5) 「新たな写真の展開」 1980年代～

10. 関連事業

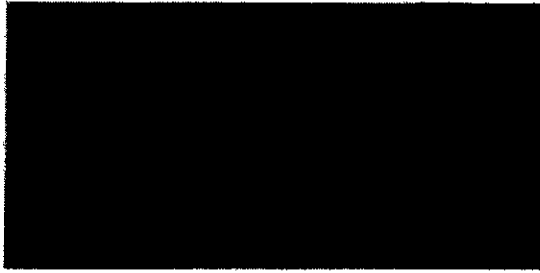
- (1) スペシャルギャラリートーク 11月23日（木・祝）午後2時～3時
講師：山本佳之氏（フジフィルム スクエア 館長） 会場：本展会場
- (2) 特別講演会 11月25日（土）午後2時～3時30分
講師：打林 俊氏（日本学術振興会特別研究員） 会場：博物館講堂
- (3) ギャラリートーク 12月2日（土）午後2時～3時
講師：本展担当学芸員 会場：本展会場

11. その他

本展に併せて、第2特別展示室にて、テーマ展示Ⅲ「アートコレクション選Ⅰ写真（仮題）」として、当館所蔵の塩谷定好や植田正治、杵島隆などの写真作品を紹介します。

12. 問合せ先 鳥取県立博物館 美術振興課（TEL.0857-26-8045）

フジフィルム・フォトコレクション展 作品イメージ



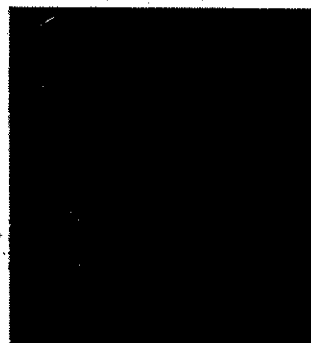
塩谷定好
《破船》
1929年



田淵行男
《初冬の浅間 黒斑山の中腹より》
1940年



岩宮武二
《マヌカン》
1954年



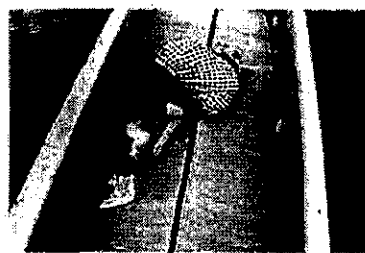
杵島隆
《老婆像》
1948年



植田正治
《パパとママとコどもたち》
1949年



森山大道
《三沢の犬》
1971年



荒木経惟
《「センチメンタルな旅」より》
1971年



奈良原一高
《アメリカ・インディアン村
の二つのゴミ缶》1972年

自然展示室「自然の窓」

- ・平成 28 年 12 月 7 日～平成 29 年 5 月 10 日
日本鉱物科学会選 日本の石“ひすい” (田邊)
- ・平成 29 年 5 月 11 日～平成 29 年 7 月 7 日
はねのミニ博覧会—企画展「つばさの博覧会」プレ展示— (川上)
- ・平成 29 年 7 月 8 日～平成 29 年 9 月 12 日
つばさをもった動物にちなんだ鉱物・化石 (田邊)
- ・平成 29 年 9 月 15 日～平成 29 年 12 月 13 日 (予定：清末)
- ・平成 29 年 12 月 14 日～平成 30 年 3 月 14 日 (予定：一澤)

歴史・民俗展示室「歴史の窓」

- ・平成 29 年 3 月 22 日～平成 29 年 6 月 4 日
「資料でみる『鳥取藩研究の最前線』」展 (来見田)
- ・平成 29 年 6 月 6 日～平成 29 年 8 月 27 日
「戦国時代の古文書」 (山本)
- ・平成 29 年 8 月 29 日～平成 29 年 10 月 22 日
「吉村撫骨旧蔵の玩具図譜」 (予定：福代)

常設展の展示概要(美術部門)

■1階美術常設展示室

	テーマ
4月5日(水)～5月21日(日) コレクション展Ⅰ	民藝運動とのかかわりのなかで ～リーチ、濱田、岡村、生田を中心に～
5月24日(水)～7月17日(月・祝)コレクション展Ⅱ	クロッシング！Ⅰ 土方稲嶺×辻晉堂
7月20日(木)～9月12日(火)コレクション展Ⅲ	クロッシング！Ⅱ 物部隆一×瀬戸浩
9月15日(金)～10月29日(日)コレクション展Ⅳ	クロッシング！Ⅲ 國領経郎×杵島隆
11月1日(水)～12月17日(日)コレクション展Ⅴ	クロッシング！Ⅳ 伊谷賢蔵×尾崎悌之助
12月20日(水)～2月12日(月・祝)コレクション展Ⅵ	クロッシング！Ⅴ 菅 橋彦×根本幽峨(予定)
2月15日(木)～4月8日(日)コレクション展Ⅶ	クロッシング！Ⅵ 前田寛治×植田正治

■2階近代美術展示室(第3特別展示室)

	テーマ
7月15日(土)～8月27日(日)テーマ展示Ⅰ (夏休み子供向け企画)	Art Diving! —作品という海へ潜ってみよう!—
10月5日(木)～11月12日(日)テーマ展示Ⅱ	鳥取藩と絵師たち(仮題)
11月23日(木・祝)～12月24日(日)テーマ展示Ⅲ ※会場は第2特別展示室	アート・コレクション選Ⅰ(仮題) 写真 ※企画展「フジフィルム・フォトコレクション展」 に併せて当館所蔵写真コレクションを紹介
11月23日(木・祝)～1月8日(月・祝)テーマ展示Ⅳ	アート・コレクション選Ⅱ(仮題) 日本画・版画・工芸
2月17日(土)～3月18日(日)テーマ展示Ⅴ	アート・コレクション選Ⅲ(仮題) 洋画・彫刻

※本年度は5月24日スタートのコレクション展Ⅱ以降、別紙のとおり来場者アンケート「あなたのお気に入りの1点を教えて下さい!」を実施している。コレクション展Ⅱのアンケート結果も別紙を参照。

実施しているアンケート用紙

平成29年度美術部門コレクション展Ⅱ	
あなたの「お気に入りの1点」を教えてください！	
今年度の美術部門コレクション展示では、あなたの「お気に入りの1点」をお聞きするアンケートを行いません。回答いただいた内容は、「Our Collections! —あなたとつくる：わたしたちのコレクション展(仮題)」(平成30年11月23日～12月24日)の展示に反映します。総数約9千点にのぼる当館の美術コレクションのなかから選ぶ、あなたのお気に入りの1点を教えてください。	
鳥取県立博物館	
ファッション横の 番号を書いて ください	選んだ理由
	NO.
<p>●よろしければ、お客様のことについて教えてください。 ※あてはまる答を一つ選び、数字を○で囲んで下さい。</p> <p>年齢は 1: 20歳未満 2: 20代 3: 30代 4: 40代 5: 50代 6: 60代 7: 70歳以上</p> <p>性別は 1: 男性 2: 女性</p> <p>お住まいは 1: 県内東部 2: 県内中部 3: 県内西部 4: 島根県 5: 兵庫県 6: その他()</p> <p>●その他、当館の美術コレクションや展覧会へのご意見、期待することなど、ご自由にお書きください。</p>	

コレクション展Ⅱ「クロッシング！ 土方稻嶺×辻晋堂」のアンケート

- お気に入り投票1位～5位 (アンケート回答枚数: 85枚)
- 1位(11票) 土方稻嶺「猿鹿図屏風」(個人蔵)
 - 1位(11票) 土方稻嶺「牡丹猫図」(個人蔵)
 - 3位(8票) 土方稻嶺「狗子図」(館蔵・安富コレクション)
 - 4位(7票) 辻晋堂「雨の日(老人)」(個人蔵)
 - 5位(5票) 土方稻嶺「雪中梅華図」(館蔵・安富コレクション)

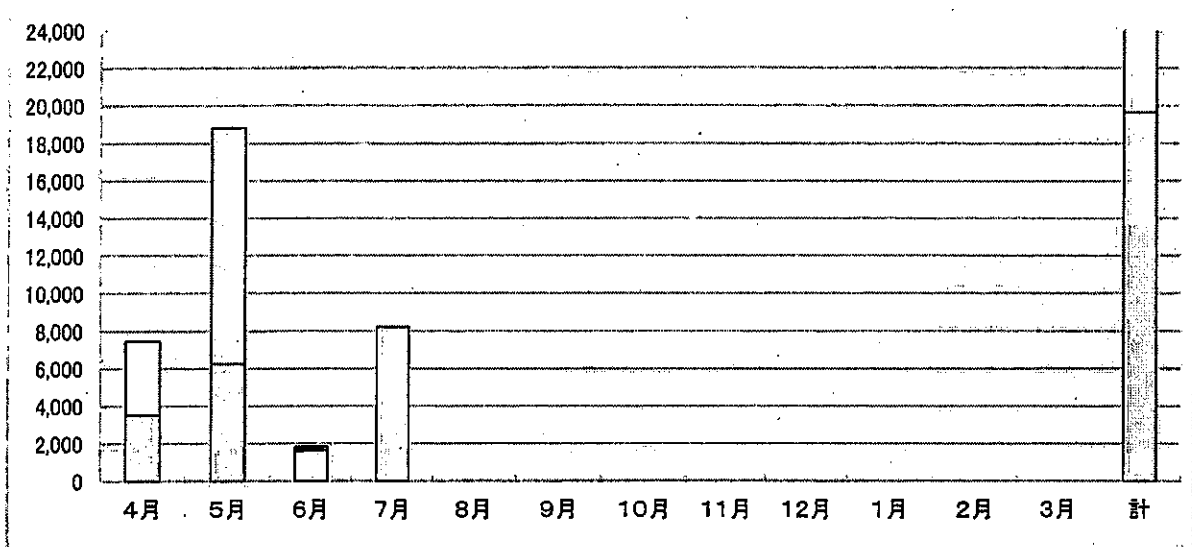
意見欄より(おもな意見)

- ・とても良い作品で、鹿などの風流を感じられるものでした。
- ・コレクションの時代が止まっている感じがあるので、目新しい感じのも混ぜてもらえると嬉しいです。
- ・江戸の浮世絵展をしてほしいです。
- ・コレクションを見る機会をもっと増やしてほしい。

博物館入館者の状況

【鳥取県立博物館利用者数】

＜平成29年7月末日現在＞



区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	<前年7月末>
常設展(A)	1,530	2,266	882	4,079									8,757	8,350
企画展(B)	1,704	3,689	634	4,058									10,085	5,907
普及活動(館内)(C)	228	200	72	0									500	885
研究相談(D)	64	94	61	66									285	177
小計	3,526	6,259	1,649	8,203									19,637	16,319
県立ジュニア展(即)													0	0
貸館利用者数(F)	3,833	12,554	198	0									16,685	7,853
総来館者数	7,459	18,813	1,847	8,203									36,322	23,172

教育普及活動

※定員欄が空欄のものは、定員の設定がないものである。
 ※参加人数が空欄のものは、まだ実施中又は未実施のものである。

資料 5

H29.8.18時点

区分	部門	テーマ	場所	期日	定員	参加人数		
移動博物館	計2件							
	自然・人文部門	鳥取県西部に関わる明治・大正・昭和の広告と鳥取の化石	ヴィンステヒえづ	8月18日(金)～8月28日(月)				
		未定	北条歴史民俗資料館	10月7日(土)～10月18日(水)				
移動美術館	計2件							
	美術部門	鳥取県立博物館絵画コレクション展「異国の風景 光と風のきらめき」	石谷家住宅	6月1日(木)～6月29日(木)		1,728		
		鳥取県立博物館絵画コレクション展「異国の風景 光と風のきらめき」	日南町美術館	9月24日(日)～10月8日(日)				
学芸員派遣	計12件							
	自然部門	小計6件						
		オカヒジキ戻ってこいこいプロジェクト	岩美町熊井浜	5月24日(水)～5月24日(水)		40	496	
		「親子で楽しみながら虫とり競争」講師	若葉台小学校 わかばホールおよび校庭	7月8日(土)		40	224	
		「昆虫の世界」講演会	鳥取市こども科学館	7月15日(土)			28	
		鹿野学講座「鹿野町の動物はすごい！」講師	鹿野町トレーニングセンター(鹿野地区公民館)	7月15日(土)			82	
		あっちこっちコウモリ!	渡辺美術館	7月23日(日)～7月30日(日)		25	30	
		日本の恐竜について	湯梨浜町立図書館	7月29日(土)		50	50	
		小計5件						
		人文部門	古文書解読ボランティア東中西部例会	鳥取県立博物館、倉吉博物館、山陰歴史館	5月6日(土)～5月7日(日)			25
			鳥取県中部地震と文化財レスキュー	倉吉市文化活動センター	5月28日(日)			266
	古文書解読ボランティア東中西部例会		鳥取県立博物館、倉吉博物館、山陰歴史館	6月4日(日)～6月5日(月)			32	
	米子人生大学講演「古文書に見る中世の西伯耆」			6月19日(月)			20	
	古文書解読ボランティア東中西部例会		鳥取県立博物館、倉吉博物館、山陰歴史館	7月1日(土)～7月2日(日)			18	
	美術部門	小計1件						
		思索と表現	博物館会議室、博物館展示室	5月29日(月)			168	
	教員向けイベント	計1件						
		教員のための博物館の日	館内各所	7月28日(金)			28	
	普及講座・講演会等	計18件						
		自然部門	小計18件					
《野外観察会》鳥取県生物学会員と歩く「生物観察会」			樗谿公園～太閤ヶ平(鳥取市)	5月14日(日)		6,417	1,202	
《野外観察会》兵庫古生物研究会とのコラボ企画!「化石をさがせ!」			若桜町春米	5月21日(日)		505	218	
《ギャラリートーク》企画展ギャラリートーク「つばさの博覧」			博物館展示室	7月16日(日)		30	40	
《自然講座》顕微鏡で楽しむミクロの世界			博物館会議室	7月22日(土)		15	13	
《天体観望会》夏の星を見る			博物館前庭	7月29日(土)		28	28	
《野外観察会》川原の石をしらべよう!			和奈見橋(用瀬町)周辺の川原、用瀬町中央公民館	7月30日(日)		30	25	
					27	27		
				20	19			

教育普及活動

区分	部門	テーマ	場所	期日	定員	参加人数
		《自然講座》つばさ展親子新聞教室	博物館会議室	7月30日(日)		
		《自然講座》さわってみよう！鳥のホネ	博物館会議室	8月5日(土)	20	16
		《ギャラリートーク》企画展ギャラリートーク「つばさの博覧」	博物館展示室	8月13日(日)		50
		《自然講座》標本しらべ相談	博物館会議室	8月19日(土)		
		《自然講座》“浮かぶつばさ”をつくろう！	博物館会議室	8月20日(日)		
		《自然講座》秋のトンボをとろう！	とっとり出会いの森(鳥取市)	10月1日(日)	30	
		《自然講座》きのこを調べる会	大山・下山キャンプ場(大山町)	10月14日(土)	30	
		《自然講座》おちばの中のモンスターをさがそう！	とっとり出会いの森(鳥取市)	10月22日(日)	20	
		《自然講座》家族で楽しむ「しいのみさがし」と森の観察	樗谿公園(鳥取市)	11月3日(金)	20	
		《自然講座》はじめてのバードウォッチング	湖山池青島(鳥取市)	11月25日(土)	20	
		《自然講座》化石レプリカをつくろう！	博物館会議室	11月26日(日)	20	
		《講演会》鳥取県生物学会講演会	博物館講堂	12月2日(土)	250	
	人文部門	小計36件			1,620	140
		《歴史講座》建武政権・初期南朝の軍事体制と名和長年	博物館会議室	4月8日(土)	20	28
		《歴史講座》古戦場・山城・荘園を歩くー岩井庄と道竹城ー	岩美町周辺(集合:岩美駅)	5月7日(日)	20	12
		《歴史講座》縄文土器形クッキー“ドッキー”をつくろう	博物館会議室	5月19日(金)	20	19
		《歴史講座》鳥取漆器・佐治漆の産業と流通の変遷	博物館講堂	6月10日(土)	20	
		《歴史講座》三朝温泉鉄道敷設計画	博物館会議室	7月8日(土)	20	
		《歴史講座》一日まるごと日本刀(午前:刀剣講座(申込不要)、午後:小刀作り(小学生のみ))	博物館会議室, 博物館前庭	7月23日(日)	20	55
		《歴史講座》縄文土器をつく	博物館会議室	7月30日(日)	20	14
		《歴史講座》近世鳥取城下町のごみ問題について	博物館会議室	8月12日(土)	20	
		《歴史講座》巻物を作ろう	博物館会議室	8月13日(日)	20	12
		《歴史講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室, 復元民家コーナー	8月20日(日)	40	
		《歴史講座》戦時下、倉吉周辺の軍需工場について	倉吉交流プラザ第1研修室	8月20日(日)	60	
		《歴史講座》池田光政という人物	博物館講堂	10月9日(月)	230	
		《歴史講座》考古資料からみた喫茶の開始と普及ー鳥取の事例を中心にー	博物館会議室	10月14日(土)	20	
		《歴史講座》池田光政の足跡をたずねて①ー袋川でぶらり	博物館会議室	10月15日(日)	10	
		《歴史講座》姫路・鳥取・岡山ー大名池田家のつながりとひろがりー	博物館講堂	10月22日(日)	230	
		《歴史講座》池田光政の足跡をたずねて②ー鳥取城跡をぶらりー	博物館講堂・鳥取城跡	10月29日(日)	10	
		《歴史講座》応仁の乱と山名宗全(仮)	博物館講堂	11月3日(金)	250	
		《歴史講座》鳥取城で鷹狩り！ー諏訪流放鷹術の実演	講堂・敷地内	11月5日(日)		

教育普及活動

区分	部門	テーマ	場所	期日	定員	参加人数
		《歴史講座》明治時代におけるシイラ濱漁をめぐる因但間の紛争	博物館会議室	11月11日(土)	20	
		《歴史講座》古戦場・山城・荘園を歩くー久古御牧故地ー	伯耆町久古周辺	11月19日(日)	20	
		《歴史講座》伯耆往来をあるく下北条・由良	北栄町内	11月26日(日)	20	
		《歴史講座》若き黄檗僧、命の手紙	博物館会議室	12月9日(土)	20	
		《歴史講座》鳥取県の民話を聞く会	博物館展示室, 復元民家コーナー	12月17日(日)	40	
		《歴史講座》豊乗寺所蔵の元代水墨画について	博物館会議室	1月13日(土)	20	
		《歴史講座》むかしのあそびをしよう!	博物館会議室	1月14日(日)	10	
		《歴史講座》史料が語る鳥取の歴史(中世編Ⅰ)	博物館会議室	1月14日(日)	20	
		《歴史講座》史料が語る鳥取の歴史(中世編Ⅱ)	博物館会議室	1月21日(日)	20	
		《歴史講座》史料が語る鳥取の歴史(中世編Ⅲ)	博物館会議室	1月28日(日)	20	
		《歴史講座》史料が語る鳥取の歴史(近世編Ⅰ)	博物館会議室	2月4日(日)	20	
		《歴史講座》史料が語る鳥取の歴史(近世編Ⅱ)	博物館会議室	2月11日(日)	20	
		《歴史講座》史料が語る鳥取の歴史(近世編Ⅲ)	まなびタウンとうはく	2月18日(日)	20	
		《歴史講座》史料が語る鳥取の歴史(近世編Ⅳ)	まなびタウンとうはく	3月4日(日)	20	
		《歴史講座》山陰の大名と鷹狩り	博物館会議室	3月10日(土)	20	
		《ワークショップ》鳥取城下絵図の魅力と可能性を探る(仮) 午前:シンポジウム(申込不要)	博物館講堂	3月18日(日)	10	
		《歴史講座》鳥取県と太平記	博物館講堂	3月24日(土)	250	
		《歴史講座》伯耆往来をあるく由良・浦安	北栄・琴浦町内	3月25日(日)	20	
		小計55件			4,292	844
	美術部門	《アートシアター》よりみちアート&ちよこつとシアター「エリック・カールコレクションの上映と本のしおりをつくるワーク	博物館講堂	4月1日(土)		58
		《アートシアター》若沖と江戸絵画ー伊藤若沖・みんなみんな生きている	博物館講堂	4月8日(土)		27
		《ギャラリートーク》リーチ作品の魅力語る～その思い出とともに	博物館講堂, 博物館展示室	4月15日(土)	250	118
		《講演会・トークセッション》タイトル未定	博物館講堂	4月22日(土)	250	115
		《ギャラリートーク》バーナード・リーチ展夕暮れギャラリー	博物館展示室	4月28日(金)		6
		《ギャラリートーク》バーナード・リーチ展ギャラリートーク	博物館展示室	4月29日(土)		31
		《講演会・トークセッション》タイトル未定	博物館展示室	5月6日(土)	250	56
		《ギャラリートーク》バーナード・リーチ展夕暮れギャラリー	博物館展示室	5月12日(金)		5
		《ワークショップ》落書きばんざい!	博物館ホール・立体展示スペース	5月13日(土)		38
		《ギャラリートーク》バーナード・リーチ展ギャラリートーク	博物館展示室	5月20日(土)		31

教育普及活動

区分	部門	テーマ	場所	期日	定員	参加人数
		《ギャラリートーク》バーナード・リーチ展夕暮れギャラリー	博物館展示室	5月26日(金)		25
		《講演会・トークセッション》タイトル未定	博物館講堂	5月27日(土)	250	86
		《ギャラリートーク》バーナード・リーチ展ギャラリートーク	博物館展示室	6月3日(土)		32
		《ワークショップ》つくって遊ぼう！巨大なパルーン	博物館展示室	6月10日(土)	12	20
		《アートシアター》バンクシー・ダズ・ニューヨーク	博物館講堂	6月17日(土)	250	20
		《アートシアター》バンクシー・ダズ・ニューヨーク	博物館講堂	6月24日(土)	250	32
		《ワークショップ》アトリエ探訪&ワークショップin琴浦	琴浦町	7月1日(土)	5	5
		《アートシアター》偉大なるオペセッションフランク・ロイド・ライト 建築と日本	博物館講堂	7月8日(土)	100	8
		《ワークショップ》光と影で風景をつくる	博物館会議室, 博物館展示室	7月15日(土)		
		《ギャラリートーク》「Art Diving!」アートダイビング!	博物館展示室	7月22日(土)		
		《ワークショップ》みんなでソウゾウ 絵画の中に入ってみた	博物館会議室, 博物館展示室	7月29日(土)		
		《ワークショップ》泥でアート!	博物館地下バックヤード	8月5日(土)		67
		《ワークショップ》素材のひろばで何つくろ?	博物館会議室	8月12日(土)		64
		《アートシアター》ユーリー・ノルシュテイン監督特集上映「アニメーションの神様、その美しき世界」	博物館講堂	8月19日(土)	250	
		《アートシアター》LISTEN リッスン	博物館講堂	8月26日(土)	250	
		《アートシアター》LISTEN リッスン	博物館講堂	9月2日(土)	250	
		《ワークショップ》美術館とコレクション(仮)	博物館会議室	9月9日(土)	40	
		《ワークショップ》粘土でアート!	博物館ホール・立体展示スペース	9月16日(土)		
		《アートシアター》アイリス・アプフェル94歳のニューヨーク	博物館講堂	9月23日(土)	250	
		《ワークショップ》カメラをもってまらあるき 用瀬 松崎 境 港 日南	県内	9月30日(土)	15	
		《ギャラリートーク》テーマ展Ⅱ	博物館展示室	10月7日(土)		
		《講演会・トークセッション》タイトル未定	博物館講堂	10月14日(土)		
		《講演会・トークセッション》タイトル未定	博物館講堂, 博物館会議室	10月21日(土)		
		《アートシアター》新日曜美術館シリーズ「狩野探幽 江戸の天才家氏」	博物館講堂	10月28日(土)	250	
		《ワークショップ》未定	博物館講堂, 博物館会議室	11月4日(土)	40	
		《ワークショップ》未定	博物館講堂	11月11日(土)		
		《ワークショップ》未定	博物館ホール・立体展示スペース	11月18日(土)		
		《ワークショップ》未定	博物館展示室	11月25日(土)	250	
		《ギャラリートーク》企画展開連 富士フィルム・フォトコレクション展	博物館展示室	12月2日(土)		
		《アートシアター》ヴィヴィアン・マイヤーを探して	博物館講堂	12月9日(土)	250	

教育普及活動

区分	部門	テーマ	場所	期日	定員	参加人数
		《ギャラリートーク》テーマ展Ⅲ	博物館展示室	12月16日(土)		
		《アートシアター》ウィリアム・エグルストン	博物館講堂	12月23日(土)	250	
		《ワークショップ》テーマ展Ⅳ	博物館展示室	1月6日(土)		
		《ワークショップ》ジュニア県展 関連 タイトル未定(落書き)	博物館ホール・立体 展示スペース	1月13日(土)		
		《ワークショップ》ジュニア県展 関連 タイトル未定(造形系)	博物館ホール・立体 展示スペース	1月20日(土)		
		《ワークショップ》美術館にま つわるスペシャルプログラム	博物館会議室	1月27日(土)		
		《講演会・トークセッション》企 画展関連 タイトル未定	博物館講堂	2月3日(土)	250	
		《ワークショップ》企画展関連 福岡市美術館展	博物館展示室	2月10日(土)		
		《ワークショップ》未定	博物館会議室	2月17日(土)	40	
		《ワークショップ》未定	博物館会議室	2月24日(土)		
		《ワークショップ》企画展関連 福岡市美術館展	博物館展示室	3月3日(土)		
		《ワークショップ》企画展関連 タイトル未定	博物館会議室	3月10日(土)	40	
		《ギャラリートーク》企画展関 連 福岡市美術館展	博物館展示室	3月17日(土)		
		《ギャラリートーク》テーマ展Ⅴ	博物館展示室	3月24日(土)		
		《アートシアター》よりみちア ート&ちよこっとシアター (上映作品未定)	博物館講堂	3月31日(土)	250	
サイエンスレク チャー		計2件			500	70
		遺跡の鳥のサイエンス-鳥取 市・青谷上寺地遺跡の骨から ペルー・ナスカの地上絵まで	博物館講堂	8月6日(日)	250	70
		宇宙と深海とすごい生き物た ち ～「はやぶさ」を見た！深海 へ行ってきた！鳥取で大発 見した！～	博物館講堂	9月16日(土)	250	
総計					6,957	3,560

平成 29 年度調査研究事業の取組内容

地学分野

- ・鳥取県の地形地質と化石に関する調査研究
平成 29 年度～31 年度 担当：田邊・榊山 共同研究者：山名
成果発表形態：論文、常設展示
- ・谷口正夫・遠藤勝壽地学標本コレクションの整理及び調査研究
平成 27 年度～30 年度 担当：田邊・榊山 共同研究者：なし
成果発表形態：論文（当館研究報告）

動物分野

- ・鳥取県の昆虫相と昆虫の分類に関する調査研究
平成 29 年度～31 年度 担当：川上 共同研究者：立田晴記（琉球大学）
成果発表形態：論文、常設展示
- ・鳥取県の動物相と動物の分類に関する調査研究
平成 29 年度～31 年度 担当：一澤 共同研究者：鶴崎展巨（鳥取大学）他
成果発表形態：論文、常設展示
- ・鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
平成 29 年度～29 年度 担当：一澤・川上 共同研究者：林耕介（鳥取西高）他
成果発表形態：論文（当館研究報告）、常設展示

植物分野

- ・鳥取県の植物相と植物の分類に関する調査研究
平成 29 年度～31 年度 担当：清末 共同研究者：浅井康宏（東京歯科大学）
成果発表形態：論文（当館研究報告他）、常設展示
- ・田中昭彦植物標本コレクションの整理及び調査研究
平成 29 年度～29 年度 担当：清末・米澤 共同研究者：田中昭彦（寄贈・採集者）
成果発表形態：目録

考古分野

- ・縄文土器製作技術の調査研究
平成 27 年度～32 年度 担当：酒井 共同研究者：なし
成果発表形態：展示、体験事業

- ・鳥取県内の原始・古代の遺跡の調査研究
平成 27 年度～32 年度 担当：酒井 共同研究者：なし
成果発表形態：展示

歴史分野

- ・県内の石造物調査研究
平成 28 年度～33 年度 担当：山本 共同研究者：新鳥取県史編さん室・岡村吉明
成果発表形態：報告書、展示
 - ・山陰地方ゆかりの宸筆の研究
平成 28 年度 33 年度 担当：山本 共同研究者：未定（東大史料編纂所を検討）
成果発表形態：報告書、企画展示
 - ・鳥取県の貿易陶磁に関する調査研究
平成 28 年度～33 年度 担当：山本 共同研究者：文化財課・中森祥
成果発表形態：展示、報告書
-

- ・池田光政に関する調査研究
平成 27 年度～29 年度 担当：来見田 共同研究者：岡山県立博物館、伊藤康晴
成果発表形態：展示
- ・鳥取藩政資料およびそのデジタル化に関する調査研究
平成 27 年度～32 年度 担当：大嶋、浜橋、酒本 共同研究者：なし
成果発表形態：研究報告
- ・鳥取県内の戦争遺跡に関する調査研究
平成 26 年度～30 年度 担当：大嶋 共同研究者：なし
成果発表形態：展示、報告書
- ・鳥取県の酒造業に関する調査研究
平成 28 年度～33 年度 担当：大嶋 共同研究者：なし
成果発表形態：展示

民俗分野

- ・鳥取県内の狛犬に関する調査研究
平成 22 年度～32 年度 担当：千葉 共同研究者：石田敏紀
成果発表形態：データベース
- ・鳥取県内の社寺の棟札に関する調査研究
平成 24 年度～34 年度 担当：福代 共同研究者：藤木竜也（千葉工業大学准教授）

成果発表形態：研究報告、展示

- ・大山の信仰に関する調査研究
平成28年度～30年度 担当：福代 共同研究者：なし
成果発表形態：展示

近世美術分野

- ・「鳥取藩絵師・土方稻嶺に関する調査研究」
平成27年度～30年度 担当：山下 共同研究者：なし
成果発表形態：展覧会

近代美術分野

- ・「日本の1950年代美術について多面的研究」
平成29年度～33年度 担当：尾崎、林野
共同研究者：埼玉県立近代美術館、三重県立美術館、高知県立美術館、新潟県方代島美術館
成果発表形態：研究会、論文、展覧会
- ・「鳥取県ゆかりの近代画家に関する調査研究」
平成27年度～30年度 担当：林野 共同研究者：なし
成果発表形態：セミナー、論文、展覧会
- ・「日本画家、菅楯彦に関する調査研究」
平成27年度～29年度 担当：林野 共同研究者：なし
成果発表形態：論文（成果によっては学会発表）
- ・「日本画家、小早川秋聲に関する調査研究」
平成27年度～32年度 担当：林野 共同研究者：なし
成果発表形態：セミナー、展覧会、論文
- ・「鳥取県出身の彫刻家・長谷川塊記に関する調査研究」
平成32年度～35年度 担当：三浦努 共同研究者：未定
成果発表形態：論文、展覧会

現代美術分野

- ・「福嶋敬恭の作品の展開に関する調査研究」
平成27年度～30年度 担当：赤井 共同研究者：なし
成果発表形態：論文、展覧会
- ・「鳥取県ゆかりの現代美術作家に関する調査研究」
随時 担当：赤井 共同研究者：なし

成果発表形態：展覧会

- ・「現代美術作品による制度批評および社会に介入する芸術についての調査研究」
平成 27 年度～30 年度 担当：赤井 共同研究者：なし
成果発表形態：論文、企画展
- ・「地域型アートプロジェクトにおける批評とキュレーションに関する調査研究」
平成 27 年度～30 年度 担当：赤井 共同研究者：小泉元宏（立教大学）
成果発表形態：論文、展覧会、口頭発表

写真分野

- ・「塩谷定好に関する調査研究」
平成 25 年度～31 年度 担当：赤井 共同研究者：なし
成果発表形態：展覧会

工芸・デザイン分野

- ・「鳥取県にゆかりのある現代の工芸家に関する継続的調査研究」
随時 担当：三浦努 共同研究者：なし
成果発表形態：企画展（平成 27 年度）、セミナー、論文
- ・「手仕事の技術を生かした現代・国内外のデザインに関する調査研究」
随時 担当：三浦努 共同研究者：なし
成果発表形態：エッセイ、セミナー、論文
- ・「山陰の絁織りに関する技法および様式に関する調査研究」
平成 29 年度～37 年度 担当：三浦努 共同研究者：未定
成果発表形態：セミナー、論文、常設展示
- ・「鳥取県出身の工芸家・岡村吉右衛門のスケッチおよびノート類に関する調査研究」
平成 30 年度～32 年度 担当：三浦努 共同研究者：なし
成果発表形態：セミナー、論文、常設展示

美術館教育分野

- ・「『来館者の学び』に関する理論と方法に関する調査研究」
平成 27 年度～30 年度 担当：佐藤 共同研究者：未定
成果発表形態：展示、ワークショップ
- ・「学校・地域連携の可能性とその方法に関する調査研究」
平成 26 年度～29 年度 担当：佐藤 共同研究者：鳥取県中学校教育研究会美術部会、鳥取市立
面影小学校図工部会

成果発表形態：展示、ワークショップ

- ・「地域に根ざしたアートコミュニケーション事業の在り方に関する調査研究」

随時 担当：山本 共同研究者：なし

成果発表形態：ワークショップ

- ・「鳥取県にゆかりのある現代デザイン領域のクリエイター(映像、工業デザイン、服飾等)に関する調査研究」

随時 担当：山本 共同研究者：なし

成果発表形態：展覧会、ワークショップ

平成29年度新規事業「美術館・博物館等ネットワーク強化推進事業」
博物館資料アドバイザー派遣事業の実施状況について

1 目的・概要

鳥取県ミュージアム・ネットワーク（※1。以下「T.M.N.」という。）が、加盟する歴史民俗資料館等を対象にして実施する資料の保存活用機能を向上させる取組を助成し、もって県内の博物館等の連携基盤を確立してネットワークの強化を図ることを目的とする。

その内容は、T.M.N. が博物館等勤務経験者などを「博物館資料アドバイザー」（以下「アドバイザー」という。）に委嘱して、希望する館（以下「取組館」という。）に派遣し、資料の整理・保管・展示等の改善の実務や取組館担当職員に助言・指導を行うもの。

※1 県内の博物館、美術館、歴史民俗資料館、考古資料館等が相互連携を密にし、各館の運営や事業の発展と向上を図ることを目的として平成15年12月に設立した組織。事務局は県立博物館で、平成29年6月末現在51館が加盟。（別紙参照）

※2 民間施設は他の支援が受けられるため、当面は市町村立歴史民俗資料館等が対象。

※3 支援業務に係る謝金は、県補助金と市町村負担金を充当。（旅費は県補助金のみ充当）

2 実施状況

(1) 取組館及びアドバイザー

【取組館】

取組館
北栄町北条歴史民俗資料館
琴浦町歴史民俗資料館
日野町歴史民俗資料館
江府町歴史民俗資料館

【アドバイザー】……氏名50音順・敬称略。本人から了解が得られた情報のみ掲載。

氏名	現所属・職	前職等	専門(年代等)
こやま ふみお 小山富見男	新鳥取県史編さん 委員(現代部会 長)、鳥取地域史研 究会長	—	近現代
きなだ ひろゆき 眞田 廣幸	—	倉吉博物館館長、倉吉市教 育委員会文化財課長	仏教考古学
たむら たつや 田村 達也	—	鳥取県立公文書館専門員、 鳥取県立図書館専門員、県 立高校教諭	近現代
ひおさ くめさもん 日置桑左エ門	—	新鳥取県史編さん専門委員	日本中世史 (文書中心)

(2) 支援業務の分担及び期間等

ア 分担

7月にアドバイザーと取組館の打合せを行い、次表のとおり分担を決定。

取組館名	年間業務時間	担当アドバイザー
北栄町北条歴史民俗資料館	364時間(52日)	○日置氏、小山氏、眞田氏、田村氏
琴浦町歴史民俗資料館	420時間(60日)	○眞田氏、小山氏
日野町歴史民俗資料館	98時間(14日)	○田村氏、小山氏
江府町歴史民俗資料館	280時間(40日)	○小山氏、眞田氏

※4 「年間業務時間」の()は、一人が1日7時間業務する場合の日数。

※5 「担当アドバイザー」の○は、支援業務全体の進捗管理等を担当いただく方。

イ 支援業務実施期間等

平成29年8月21日(月)～平成30年3月31日(土)のうち、それぞれの取組館とアドバイザーが連絡調整して定めた日時に実施。

※6 業務開始当初にアドバイザーと取組館職員が協働して業務工程の計画書を作成するとともに、日々の支援業務実績を日誌に記録。(いずれもT.M.N.事務局に提出)

平成29年度 鳥取県ミュージアム・ネットワーク加盟館一覧

(別 添)

平成29年6月30日(金)現在

番号	市町村	管理者別	名	称	番号	市町村	管理者別	名	称
1	鳥取市	県	鳥取県立博物館		1	倉吉市	鳥取県歴史光華会	鳥取県立鳥取二十世紀梨記念館	
2	鳥取市	県	鳥取県理蔵文化財センター		2	倉吉市	倉吉市	倉吉博物館・倉吉歴史民俗資料館	
3	鳥取市	財団	県立董経館・鳥取世界おもちゃ館(わらべ館)		3	倉吉市	大学	鳥取短期大学耕美術館	
4	鳥取市	鳥取市文化財団	鳥取市歴史博物館(やまびこ館)		4	湯梨浜町	湯梨浜町	湯梨浜町羽合歴史民俗資料館	
5	鳥取市	財団	鳥取民藝美術館		5	湯梨浜町	鳥取県歴史光華会	中国庭園燕趙園	
6	鳥取市	財団	遮辺美術館		6	三朝町	宗教法人	三徳山宝物殿	
7	鳥取市	鳥取市文化財団	仁風閣		7	北栄町	北栄町	北条歴史民俗資料館	
8	鳥取市	個人	池本吾巳小さな写真美術館		8	北栄町	北栄町	青山剛昌ふるさと館	
9	鳥取市	鳥取市文化財団	因幡万葉歴史館		9	琴浦町	琴浦町	琴浦町生涯学習センター まなびタウンとうはく	
10	鳥取市	風土遺産研究会	鳥取市河原町お城山展望台		10	琴浦町	琴浦町	日韓友好資料館	
11	鳥取市	個人	百鬼ミュージアム						
12	鳥取市	鳥取市	さシアストロパーク						
13	鳥取市	用務ふるさと委員会	もちがせ流しびなの館						
14	鳥取市	鳥取市文化財団	あおや郷土館						
15	鳥取市	鳥取市文化財団	青谷上寺地遺跡展示館						
16	鳥取市	鳥取市文化財団	あおや和紙工房						
17	岩美町	個人	ゆかむりギヤラリー尾崎翠資料館						
18	岩美町	県	山陰海岸ジオパーク海と大地の自然館						
19	若桜町	鳥取県歴史光華会	鳥取県立水ノ山自然ふれあい館(響の森)						
20	若桜町	若桜町	若桜町郷土文化の里						

番号	市町村	管理者別	名	称
1	米子市	米子市文化財団	米子市美術館	
2	米子市	財団	米子水鳥公園	
3	米子市	米子市文化財団	米子市立山陰歴史館	
4	米子市	米子市文化財団	米子市福市考古資料館	
5	米子市	会社	上淀白鳳の丘展示館	
6	米子市	会社	アジア博物館、井上靖記念館	
7	米子市	個人	小さな夢美術館	
8	境港市	鳥取県歴史光華会	夢みなどタワー	
9	境港市	境港市	水木しげる記念館	
10	境港市	境港市文化財団	海とくらしの史料館	
11	南部町	南部町	南部町祐生出会いの館	
12	南部町	鳥取県歴史光華会	鳥取県立とっとり花回廊	
13	伯耆町	植田正治写真美術財団	植田正治写真美術館	
14	伯耆町	会社	伯耆国山岳美術館	
15	日吉津村	日吉津村	日吉津村民俗資料館	
16	大山町	県	鳥取県立むきぼんだ史跡公園	
17	大山町	県	鳥取県立大山自然歴史館	
18	大山町	宗教法人	大山寺宝物館霊宝閣	
19	日南町	日南町	日南町美術館	
20	日野町	日野町	日野町歴史民俗資料館	
21	江府町	江府町	江府町歴史民俗資料館	

加盟館数 51館

美術館等連携計画策定事業の実施状況

平成29年6月29日

- ・ 委員予定館員が集まり、同検討委員会発足準備会（非公開）を開催した（会場は倉吉）。
 - 委員会メンバー：TMN加盟館より8館（鳥取県立博物館、鳥取民藝美術館、渡辺美術館、倉吉博物館、北条歴史民俗資料館、米子市美術館、伯耆町立写真美術館、日南町美術館）
 - 準備会では、委員会の目的の共有、今後の進め方、およびオブザーバー候補者の検討を行った。

平成29年8月下旬～平成30年1月 ※委員会は基本的に公開（資料提供を行う）

- ・ 第1回委員会（8月下旬開催予定）
議題：県内の美術館等の協力・連携ネットワークの現状と課題（協力・連携が不十分な現状、その原因分析等について）の洗い出し
- ・ 第2回委員会
議題：ネットワーク強化の方向性（第1回委員会の内容を踏まえた機能の連携・補完・協力の在り方、中核施設の役割等）について
- ・ 第3回委員会
議題：第2回委員会で出た方向性の実現のために各館が取り組むべき施策について（短期・中期・長期に分けて、各館が実施可能な施策を網羅的・具体的に列挙していく）
- ・ 第4回委員会
議題：議論のまとめ（整理）と、その他連携計画策定のために必要な事項の確認

平成29年度第1回鳥取県立博物館協議会での意見等に係る対応方針について

意見・要望	回答(協議会時)	今後の対応方針
<p>平成28年度重要業績について</p> <p>企画展の内容はいいが、足を運んでもらう仕組みづくりが大事。今やっているカフェとのコラボなどの仕掛けをどんどんして、たくさんの方に知っていただくことが博物館に足向けてもらう方法ではないか。</p>	<p>今回のバーナー・ドリー・リリーチ展は、マスコミとのタイアップによる広報で多くの人の目に触れる機会を増やせた。今後は、来た人が写真を撮ってSNS等にアップし、それが口コミ的に広がっていくような展開、アプローチを考えていく必要があると思っ</p>	<p>・協賛、実行委員会方式によるマスコミとのタイアップによる広報の強化、企画展時の写真撮影の容認、これに伴うSNSでの拡散等を継続・拡大していく。 ・また、広報強化対策のほか、目玉資料の設定など、企画段階でも集客増対策を検討していく。</p>
<p>ボランティア、まちづくりの団体、NPO等、いろいろな団体と組んで事業をやっていただきたい。</p>	<p>カタログで完結するものもあるが、両方やっというところも考えている。</p>	<p>・現在、大学やまちづくりの団体との共同事業や展覧会を開いており、今後も継続し拡大したいと考えている。 ・また、平成27年度に制度創設した協力等対象団体(平成29年7月末現在9団体)との連携・協力を推進するとともに、鳥取大学獣医学科の解剖実習受入を通じた骨格資料の整理等を行っている。</p>
<p>美術の分野が研究報告をほとんど書かれていない。後で読み返せるよう、館の研究報告などに残して読めるようにしてほしい。</p>	<p>企画展や講座のアンケート等で意見を聴いたりしてきたが、さらに泉氏の声を聴く機会を設けることを考えてみたい。</p>	<p>・美術の分野は展覧会とカタログというかたちで研究成果を発表する機会が多いが、日々の研究等については、博物館の研究報告等でも成果を発表してきたし、今後も発表する予定である。</p>
<p>平成29年度重要業績について</p> <p>・事業実施に当たって一般市民の意見や要望は入っているか。県民の声を聴いてみるような場があってもいいと思う。</p>	<p>・今はチラシでの周知が多いので、これから考えていきたい。</p>	<p>・展覧会に際してのアンケートや講座等で要望については聞き取るようにしている。講座等では質疑の場を設けて、展覧会のみならず、博物館の美術部門への希望を聞くようにしている。 ・一方で、単に人気の高い作品や資料を展示するだけでなく、鳥取県の美術や自然、歴史・民俗に関して啓発的な役割を果たすことも博物館の責務と考える。</p>
<p>博物館改修について</p> <p>・空調は24時間できるのか。</p>	<p>・温度管理はできるが、湿度が加湿か除湿の一部。空調系の工事をしており、確認してみる。</p>	<p>・チラシに加えてfacebookなどのSNSでの発言をこころがけたい。</p>
<p>鳥取県立美術館整備基本構想の概要等について</p> <p>・美術館の構想が決まっていない時点で博物館のスペースを協議してきたが、潘絵師の絵が残る場合、収蔵庫は足りるのか。</p>	<p>・潘絵師の絵は軸物も多く、一定程度の対応ができるのではと 思うが、詳細はこれから整理する。</p>	<p>＜現在の機能＞ ・温度管理はできるが、湿度(除湿)管理の機能が整備できていない。24時間(湿度)管理も、設備能力的に3階収蔵庫と一部の展示室に限定される。 ＜改修後の想定＞ ・24時間空調ができるように設備改修を行うにしても、工事費以外に高額のランニングコストを伴うため、改修計画で運用方法及び24時間空調とする範囲を検討する。</p>
		<p>(改修事業計画案等により説明)</p>

県立美術館整備の検討状況について

平成 29 年 8 月 28 日
博 物 館

1 鳥取県立美術館整備基本計画策定アドバイザー委員会の設置

鳥取県立美術館整備基本構想に基づき、美術館に必要な機能、施設設備、事業運営について具体化する鳥取県立美術館整備基本計画の検討を行うとともに、その策定に専門的な知見に基づくアドバイスをいただくため、先進美術館関係者、美術関係者らで構成する「鳥取県立美術館整備基本計画策定アドバイザー委員会」を設置した。(PFI 導入可能性調査も基本計画策定と併せて実施。)

《鳥取県美術館整備基本計画策定アドバイザー委員会委員》

氏 名	役 職 等	分野
林田 英樹	日本工芸会理事長、元文化庁長官、元国立科学博物館長、元国立新美術館長	全般
水沢 勉	神奈川県立近代美術館館長、鳥取県美術資料収集評価委員会委員	美術
加藤 哲英	鳥取県美術家協会 会長	文化活動
池本 喜己	写真家	文化活動
五島 朋子	鳥取大学地域学部 教授	文化活動
稲庭 彩和子	東京都美術館アート・コミュニケーション係長 学芸員	教育普及
塚田 美紀	世田谷美術館学芸部企画担当主査 学芸員	教育普及
高増 佳子	米子工業高等専門学校 准教授	建築関係
吉村 寿博	吉村寿博建築設計事務所 代表	建築関係

2 第 1 回鳥取県立美術館整備基本計画策定アドバイザー委員会の開催概要

- (1) 日 時 平成 29 年 8 月 4 日 (金) 午後 1 時から午後 4 時まで
 ・午後 1 時～ 県立美術館建設予定地視察
 ・午後 2 時～ 第 1 回鳥取県美術館整備基本計画策定アドバイザー委員会

- (2) 場 所 エキパル倉吉 多目的ホール

(3) 主な意見等

- ・意見交換に先立ち、委員会の座長に林田英樹氏（元文化庁長官）を選任し、林田座長から、鳥取県にふさわしい美術館の基本計画となるよう、委員全員が、専門的な立場で幅広い意見を出していきたいとの挨拶があった。

《基本構想等》

- ・基本構想は、鳥取県美術家協会が希望する内容がほとんど網羅されている。誰でも来やすく、非日常的な時間が過ごせ、今の子どもたちが大きくなった時に、自分たちはこの美術館に触れて育ったと感じてもらえるような美術館としてほしい。
- ・10年後には、技術や、子どもたちが感動するものも大きく変化している。そうであれば、10年後の美術館の在り方をもっと大胆に考えていくことが必要ではないか。(例えば、入口のない建物を作る、収蔵品を展示する代わりにモニターで国内外の美術品を見せる展示品のない美術館、3D プリンターで展示物を作成する、図録の代わりに来館者がそれぞれ欲しい説明をプリンターから印刷等)
- ・今の基本構想は、来館者を文化の消費者として捉えている部分が気になった。例えば、目の見えない人とともに作る音声ガイドは、見える人にとっても格段に分かりやすい。ユーザー側に「宝」があるという認識のもとで基本計画(案)の書き振りを書き換えるだけで印象が

変わらなう。

- ・金沢 21 世紀美術館が成功した一番の理由は、街中の賑わいを取り戻したいとの市長の強い思いのもとで、建築としての魅力だけではなく、魅力を引き出すための学芸員、事務局としての市役所職員のそれぞれが専門性を発揮して、うまくまとめた点にある。設計者、館長、学芸員など出来るだけ早く体制を確保して、議論していくことが重要。

《事業活動等》

- ・誰でも利用しやすい美術館とするためのツール（建物のハード面、また拡大表示やベビーカー、だれでもトイレ）がどのように活用されるかは、コミュニケーションによるものと感じている。職員と県民を含めたサポート、共助のシステムの構築が必要である。
- ・美術ラーニングセンターの役割を有する既存の美術館はないため、新美術館の特色として挙げてよいと思う。
- ・東京都美術館では、美術館を美術と教育の場から福祉・集い・コミュニケーションの場に広げることが重要と意見があつてアートコミュニケーション事業を開始した。学校での美術教育からの解放、学びのコミュニケーションへの内包によってアートに関心を持つ層が広がることから、美術ラーニングセンターの名称についても、もっと広がりを持ったものでもよいのではないかと。
- ・福祉・コミュニケーションを含めるのは面白い視点である。倉吉市は人口に対する病院比率が大きいと聞いており、福祉が充実している県の特性を活かした切り口を含められるとよい。
- ・県内の小学校 3（4）年生を 1 回連れてくるというのは少ないと感じる。美術館に行く行為は一種の習慣・経験であると感じているため、せつかく県の中央部に作るのだから、小学生・中学生は 1 年に 1 回来館するような試みにすべきではないか。そうすれば、学校現場での負担も解消できて効果的である。
- ・新美術館の無料化を考えるのはどうか。無料にした上で新美術館がどれだけの事業ができるか考えてはどうか。
- ・障がい者の作品を公募・展覧し、白壁土蔵群の商店主が街中にある自らの店で展示して障がい者の芸術活動を推進する。このような取り組みを通して、美術・美術館への関心が増えるのではないかと。
- ・アーティスト・イン・レジデンス事業は美術館のセキュリティから切り離さないと作家が 24 時間滞在できない現実があることから、白壁土蔵群など周辺地域との関与の仕方が考えられる。どのように具体的に町とかかわるかは現段階から考えるべきである。
- ・ボランティアスタッフや友の会の存在は重要である。現段階からどのようにボランティアに関与してもらえらる仕組みを作るかが重要である。

《賑わいづくり》

- ・巨額の投資をする以上、公的施設としては賑わいが求められると思っている。美術館には多様な役割があるが、どのように賑わいの拠点とすべきかを建物・活動の検討の中で考えてもらいたい。
- ・展示の鑑賞有無にかかわらず地元住民が来館するような使い方ができるようなオープンさが必要である。県民に愛されることが肝要であり、「時間があるから県美に行こう」と思われるようにすべきである。
- ・全面無料化は難しいものの、対象層ごとの無料日を増やすなど、自分自身が美術館に来てもらいたいという対象と思われている（「ウェルカム」されている）仕組みを作り、来館者自身が美術館と関われると感じることが重要である。

《美術館の建物》

- ・美術館の建物が美術的な価値を有し、県内外・国内外から建築を見に来館してもらえらるようになればいいと思う。そのため、設計者をどう決めるのか、もしくは著名な建築家に依頼す

るのかなど、建物の価値を考慮してほしい。

《整備手法》

- ・ P F I 手法での整備・運営は、経済原理ばかりに頼ってしまい、建物自体の価値が高められない、自由な展示ができないのではと懸念する。
- ・ P F I 手法は設計の自由度を下げると感じている。新美術館も設計段階はプロポーザル方式にすれば魅力的なものになり、多くの案が集まると思っており、P F I 手法を導入するならば設計段階で十分検討ができる形のものとするべき。一般的な P F I 手法では月並みな設計しかできないと感じている。

3 今後の進め方

時期	教育委員会等(※)	基本計画策定アドバイザー委員会
8月頃～	○基本計画策定のための課題整理 ・特徴ある美術館(エッジをかかせた)としての在り方 ・倉吉未来中心等との連携方策 ・県内美術館とのネットワーク 等	第1回委員会 ・基本構想を起点とした基本計画策定のための課題に対するアドバイス
	○建設地の基礎調査 ○美術館の導入機能、施設計画、事業計画、事業費の素案等の検討 ○P F I 手法の検討(事業方式、形態、期間、業務範囲、リスク分担)	
11月頃	○民間事業者への参入意向調査 →事業化に向けた課題整理 →参画意向の把握	第2回委員会 ・美術館の導入機能、施設計画、事業計画へのアドバイス
30年1月以降	○基本計画(案)の検討	第3回委員会(状況により数次開催) ・基本計画(案)へのアドバイス
	○基本計画策定	
	○P F I 手法導入可能性の評価 ・従来手法とP F I 手法との定量比較評価(VFM評価) ・定性的評価 ・民間事業者サウンディング結果の精査 ・P F I 手法による事業実施の可能性についての総合的評価	
(以下、P F I 手法で実施することとなった場合の想定)		
	○議会にP F I 事業者選定アドバイザー業務委託経費を提案	
30～31年度	○P F I 事業者の募集・決定	
31～32年度	○P F I 事業者による基本設計・実施設計	
33～35年度	○P F I 事業者による建設工事(乾燥期間を含む)	
36年度	開館(予定)	

※基本計画の策定支援及びP F I 手法導入可能性調査業務を専門コンサルタントに委託して実施。

県議会の附帯意見等を踏まえた博物館に残す美術機能について(案)

県立博物館

【内容】

- ① 博物館の企画展示室2室(1030㎡)を引続き残し、相当規模の美術系展覧会の開催等に対応できる機能とする。(自然系・歴史民俗系の展覧会にも十分対応できるもの)
- ② 博物館企画展示室で継続的に藩絵師作品及びゆかりの民芸作品の展覧会を開催する。
- ③ 上記対応のため、一部の藩絵師作品・ゆかりの民芸作品を博物館で所蔵する(最低限の美術収蔵機能を存置)。
- ④ 歴史民俗分野の本県歴史を紹介する常設展示において藩絵師作品(池田藩の歴史を物語るもの)・ゆかりの民芸作品を歴史・民俗展示として混合展示を行う。

【考え方】

- ・博物館に一定の美術展示・展示室機能・美術収蔵機能を残し、東部地区での美術に触れる機会や美術展覧会開催の場所の確保を図る。
- ・新美術館をメインとしながらも、博物館にも一部最低限の作品を置き、歴史展示の中で見せる展示方法は美術館展示とは切り口を変えた効果的な方法である。
- ・大切な県民の財産である美術作品群を劣化させることなく適切に次世代に継承していくため、最も保管管理レベルの高い新美術館での所蔵を基本とすることが適切である。

平成29年度当初予算

「鳥取県立美術館整備推進事業」についての附帯意見

1. 美術館建設候補地となっていた関係市町に対して、建設地決定の経緯について十分な説明責任を果たし、理解を得るよう努めること。
2. 美術館の建設に当たっては、過度な施設整備を控え建設費用の削減に努めるとともに、管理運営費が過大とならないような施設とし、後世の県民負担とならないように充分留意すること。

ひじかた とうれい かたやま ようこく くらだ とうこう

3. 鳥取藩ゆかりの絵師（土方稻嶺、片山楊谷、黒田稻臯、
おき いちが
沖一峨など）の作品や当時の美術工芸品、更には、鳥取市にゆかりのある吉田璋也に代表される民芸運動による工芸及び近現代の工芸作品は、その歴史的、地域的背景を勘案し、現在の博物館施設に残すこと。

併せて、引き続き研究・管理・展示・解説ができるよう学芸員を配置すること。

4. 鳥取市が美術館建設を行う際には、以前の鳥取市桂見の美術館構想の経緯もあり、県は支援協力をすること。

改修後の鳥取県立博物館事業計画（想定）（修正案）

1 収集・保管関係

★特徴：収蔵庫の常時観覧（一部収蔵庫にガラス窓設置）

(1) 鳥取県の自然や歴史・民俗に関する資料の収集

- ・鳥取県に関する地学、生物、歴史・民俗などの資料を体系的に収集し、県民の共有財産として継続的に充実させていく。

(2) 収集資料の保管と活用

- ・収集した資料を適切、安全な環境の下で保存・管理し、国内外の研究者等の利活用を促進するとともに、一部の収蔵庫にはガラス窓を設置し、資料の保管の様子を来館者がいつでも観覧できるようにする。

※収蔵庫の常時観覧は、庫内の資料に悪影響が出ない方法で行う。

- ・常設展示や企画展示で継続的に鳥取藩ゆかりの藩絵師作品及び吉田璋也に代表される民芸運動による工芸品（以下総称して「藩絵師作品・ゆかりの民芸作品」という。）の展示又は展覧会を開催することに対応するため、一部の藩絵師作品・ゆかりの民芸作品を引き続き収蔵する。

2 展示関係

常設展示

★特徴：「資料」が語る展示

(1) 鳥取県を知るための融合展示

- ・鳥取県の自然、歴史・民俗の重要な「資料」を紹介し、その資料にまつわる様々な話を自然、歴史・民俗などの分野の壁にとらわれず、資料自身が語るように伝えていくことのできる展示室を新たに設け、本県の自然的・歴史的な個性を総合的に把握・理解してもらえるようにする。
- ・県民とともに作り上げることを心がけ、展示室内から議論が生まれる「学びの空間」となり、ここから鳥取県の新しい価値観が創り出されるようにする。

(2) 鳥取県に関する分野別展示

- ・鳥取県の地学、生物、歴史・民俗の各分野について、学芸員の調査研究やその他の最新の研究成果などを踏まえた専門的な知見をわかりやすく展示する。
- ・期間限定で展示替えするコーナーを設け、新収蔵コレクションや最新的话题を速報展示する。それらについては、学芸員以外の研究者や愛好家等も参画・協働できるようにする。
- ・歴史・民俗分野の常設展示において、鳥取藩の歴史を物語る藩絵師作品や当時の美術工芸品を歴史資料として混合展示を行う。

企画展示

★特徴：自然や歴史・民俗分野の各展覧会は、2ヶ月程度にわたる長期開催（県民の観覧機会の充実確保）

(3) 国内外の貴重な資料を観覧できる展覧会（年1回程度）

- ・自然と人間の歩みについて世界や日本の多様な状況を学ぶことのできる機会を県民に提供する。

(4) 鳥取県の自然や歴史・民俗に関する展覧会（年1回程度）

- ・鳥取県に関する最新の知見や新たな発見を紹介し、本県のアイデンティティ強化に資する。

※学芸員を増員し、展覧会の回数を増やすことも検討する。

(5) 県立美術館（仮称）主催の美術系展覧会等の開催

- ・東部地域でも県民等が継続的に美術展覧会を観覧できる機会を確保する。

3 調査研究関係

★特徴：「収集資料」に基づく開かれた調査研究活動

(1) 収集資料の整理と研究

- ・収集した資料を活用できるよう、整理と登録を優先的に行っていく。
- ・整理された資料を、県外の機関とも連携しながら、精力的に調査研究し、鳥取県の“過去”と“現在”を明らかにしていく。

(2) 目録・データベースの提供と『研究報告』の発行

- ・登録された資料を目録・データベースとして提供し、また調査研究成果を『研究報告』として定期的に発行する。このことで、成果を県民等に還元するとともに、国内外の研究者等の参画・協力を得やすくする。

4 教育普及関係

★特徴：100人以上が収容できる多目的大スペース（講演、講座、昼食会場など）を核に

(1) 講座・講演会・観察会・ワークショップ等の充実

- ・様々な使用形態に対応可能な多目的大スペースを新たにリノベーションして、学校など大人数の団体や幅広い来館者を対象に、多様な学習ニーズに応える機会（例：大講演会、会場を仕切ったワークショップ、パネル発表、実験実習など）を提供する。
- ・年齢や言語、障がい等にかかわらず、様々な人々が参加できる学習・体験プログラムを提供する。
- ・学芸員の仕事（資料の整理や調査、展示の準備など）を紹介するプログラム等も実施し、博物館活動への理解や関心を深め、積極的な参画を促す契機とする。

(2) アウトリーチ活動

- ・博物館から離れた地域を重点に、公民館や学校等への学芸員派遣、テーマを定めた貸出し資料キットの作成、県内各地における出張展示などを行い、全ての県民に主体的な学習の機会を提供する。
- ・その際には、県内の他の博物館（類似施設）と連携しつつ、役割を分担し、各地域における学習機会の格差是正と学習内容の個性化を図る。

(3) 学校教育活動の支援

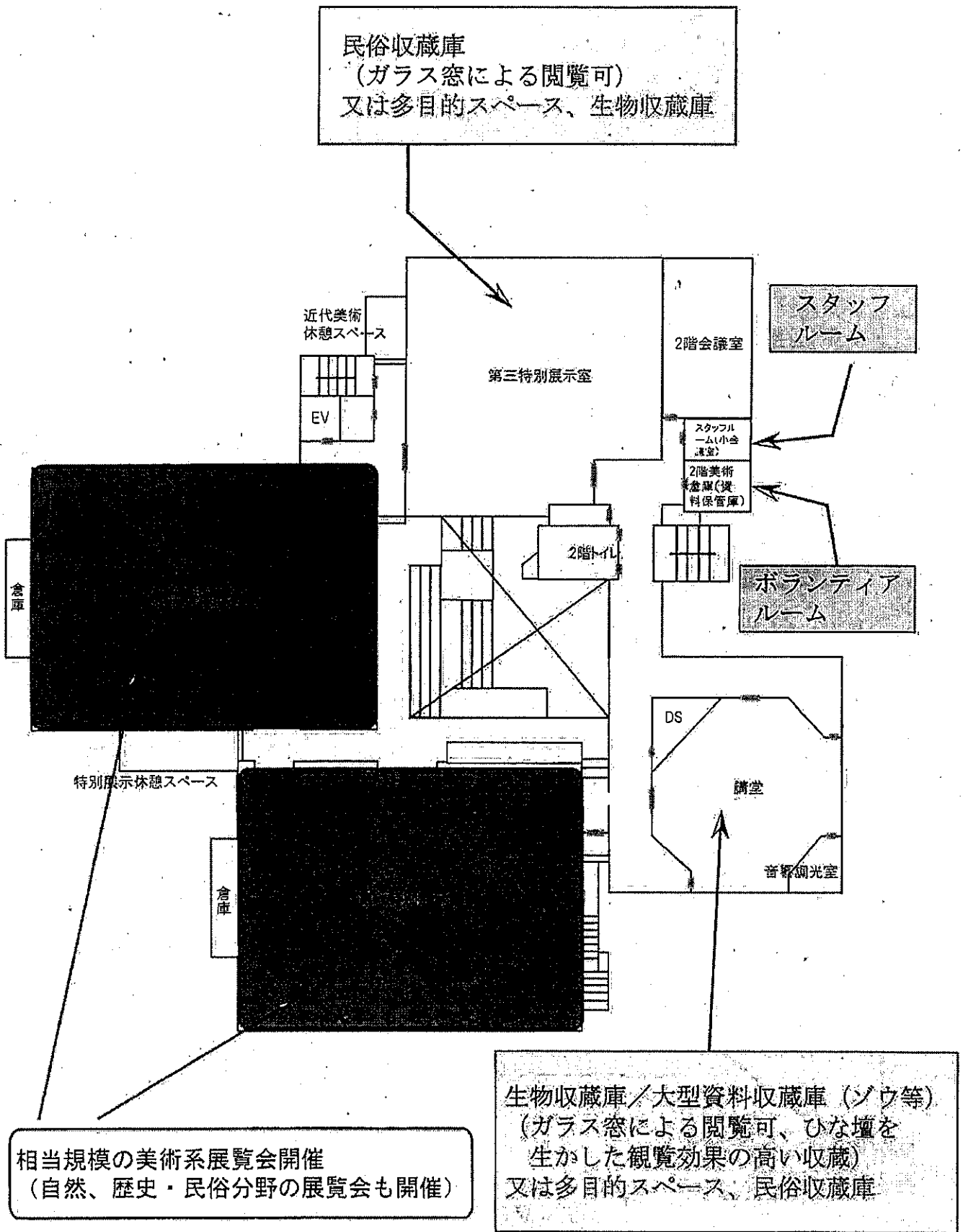
- ・学校教育における博物館利用を促進するため、博学連携を強化するとともに、社会見学や遠足、授業等でクラスを挙げて来館した際には、多目的大スペースを活用することで、来館者サービスの充実を図りつつ、活動内容も拡充する。
- ・小学校と連携し、発達段階に即した博物館利用法を考えていき、県内のすべての小学生が有効に利用できるようにする。

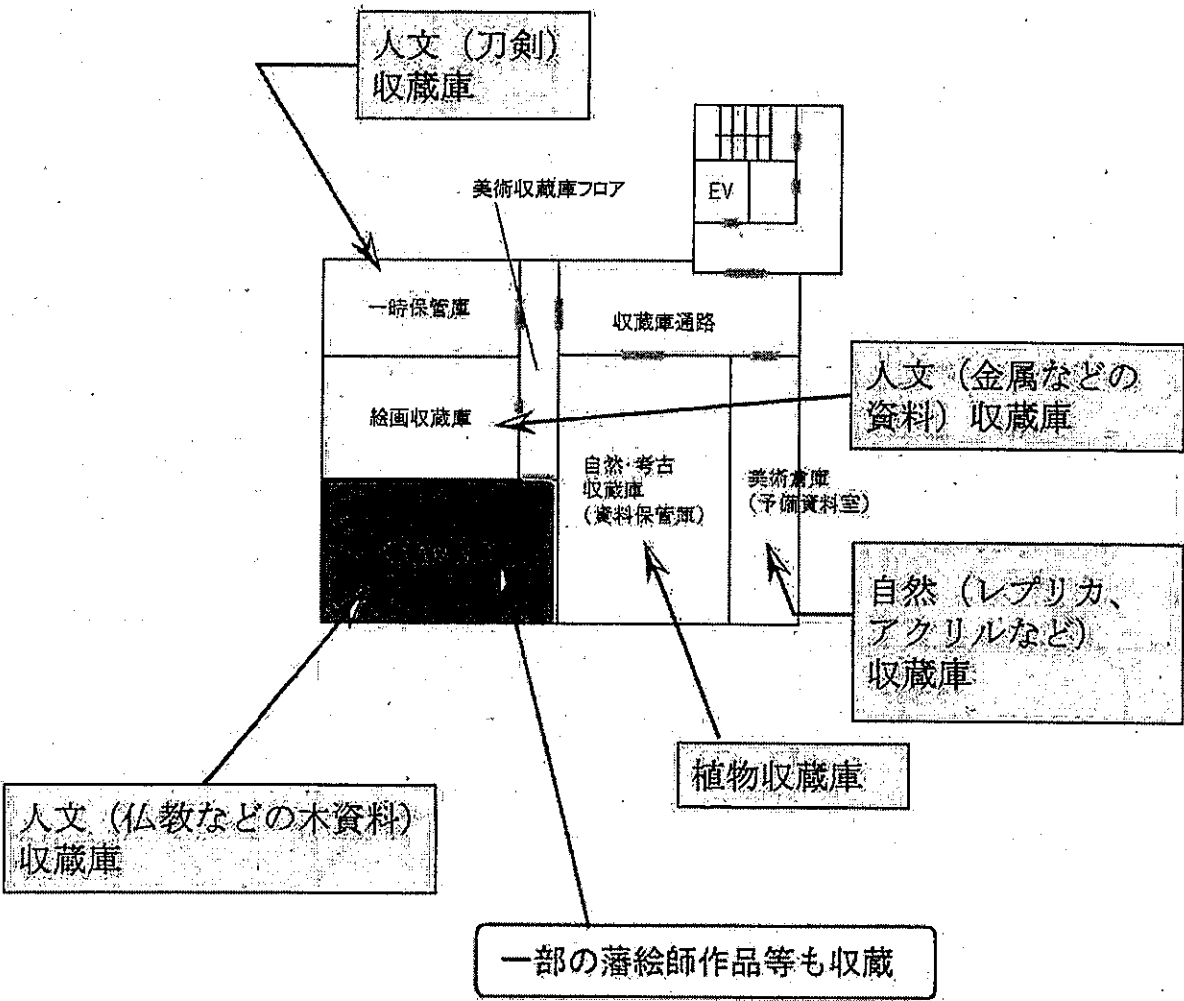
5 地域・県民との連携・協力関係

★特徴：県民の生涯学習の場

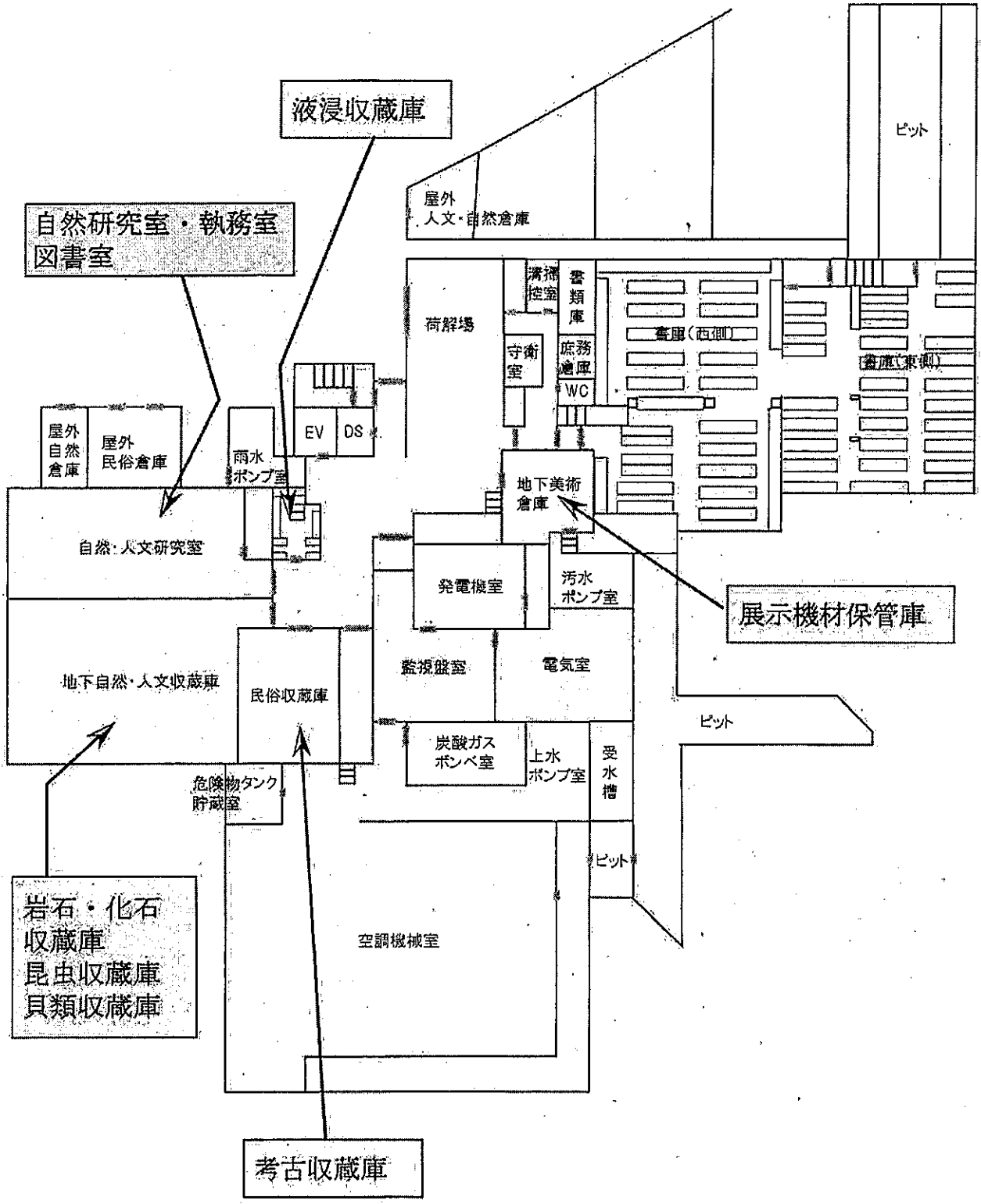
- (1) ボランティアや任意団体等による博物館活動の活性化
 - ・資料の整理や登録、自然標本の同定、古文書の解読などをボランティア等に支えてもらって着実に推進する。同時に、ボランティアたる県民に生涯学習の機会を提供し、博物館事業と県民活動との融合を図る。
- (2) 研究機関等との連携事業の推進
 - ・大学等の研究機関や民間の研究者や愛好家などと協力・連携して、多種多様なシンポジウム、研究発表会等を開催し、多岐にわたる研究活動を展開する。
- (3) 県民の活動成果の発表機会の提供
 - ・企画展示室を県民の様々な活動成果等を展示・発表する場として積極的に提供する（貸し館）。展示・発表の内容については、自然、歴史・民俗関係に限定せず、産業や芸術など県民の幅広い活動の成果発表等に活用できるようにする。
- (4) 県内他館との連携
 - ・県内に市町村や民間団体が設置している博物館（類似施設）に対し、収蔵資料の整理・保管や展示方法の改善について助言・指導を行ったり、共同で巡回展示や連携講座を実施したりして、それらの施設との連携・交流を強化する。

2 階





地階



博物館の現状と改修後の各室利用比較(案)

平成29年8月20日(日)現在
(単位:m²)

区分	現状(A)		改修後案(B)		増減 (B)-(A)	
	積室名等	面積	積室名等	面積		
収集保管	自然	3F(自然・考古収蔵庫の一部)、B1F(自然・人文収蔵庫の一部、昆虫収蔵庫、屋外倉庫(植物標本等収蔵)、緑風倉庫(化石・岩石・図書等収蔵(展示機材等含む))	706.2	3F(レプリカ等収蔵、植物標本等収蔵)、B1F(岩石・化石・昆虫・貝類等収蔵、液浸標本収蔵)、屋外倉庫(植物標本等収蔵)、緑風倉庫(化石・岩石・図書等収蔵(展示機材等含む))	1,115.0	408.8
	人文	3F(自然・考古収蔵庫の一部)、B1F(自然・人文収蔵庫の一部)、屋外民俗倉庫(大型農具等)、人文・自然倉庫(土器等)、緑風倉庫(図書等)	830.0	3F(仏像など木資料、金属資料等、刀剣)、屋外民俗倉庫(大型農具等)、人文・自然倉庫(土器等)、緑風倉庫(図書等)	1,430.2	600.2
	美術	3F(美術収蔵庫、絵画収蔵庫、一時保管庫、通路、予備資料室)、2F(資料保管庫(絵画)、1F(階段下倉庫(彫刻))、B1F(美術倉庫(彫刻))、緑風倉庫(図書等)	550.0	鳥取藩絵師作品等	99.0	△ 451.0
	計		2,086.2		2,644.2	558.0
展示	企画展示	第1～第3特別展示室	1,404.0	現第1・第2展示室	1,030.0	△ 374.0
	常設展示	自然展示室、歴史・民俗展示室、美術展示室	1,290.0	自然展示室(歴史・民俗との融合展示あり)、歴史民俗展示室(鳥取藩絵師作品等の混合展示あり)	1,030.0	△ 260.0
	計		2,694.0		2,060.0	△ 634.0
調査研究		学芸執務室、図書室(研究用図書室・美術研究室)、準備工作室(自然・人文研究室)	437.0	人文執務室・研究室・修復室・研究用図書室・作業室、自然執務室・研究室・研究用図書室	395.0	△ 42.0
教育普及		講堂・映写室、史料閲覧室	317.0	ボランティアルーム、多目的スペース、情報室(図書・映像)	435.0	118.0
管理・共用	共用空間	エントランス(ミュージアム・ショップ含む)、廊下、トイレ、休憩コーナー等	3,248.0	エントランス(ミュージアム・ショップ含む)、廊下、トイレ、休憩コーナー等	3,248.0	0.0
	管理・総務	館長室、応接室、総務課、1・2F会議室、荷解場、電気・機械室	1,486.0	館長室、応接室、総務課、1・2F会議室、荷解場、電気・機械室	1,486.0	0.0
	計		4,734.0		4,734.0	0.0
合計			10,268.2		10,268.2	0.0

※屋外倉庫、緑風倉庫を除く延床面積は9,699.0m²(改修後案も同じ)。

